

要 請 書

「地域枠制度の安定的運営等に関する要請」

令和元年 7 月

北 海 道 市 長 会

地域枠制度の安定的運営等に関する要請

地域における医師不足は、依然として深刻な状況が続いており、医師の確保は、大変切実なものとなっております。また、本年2月に国が暫定的に示した医師偏在指標では、北海道内21の二次医療圏のうちの半数以上の11医療圏が医師少数区域となったところであり、医師の地域偏在の解消は、重要な課題となっております。

北海道においては、平成20年度に道内の医育大学と連携して、暫定的な入学定員増と連動させた地域枠制度を創設しており、平成28年度に地域枠医師が地域勤務を開始して以来、年々、地域勤務する医師が増加し、医師の地域偏在是正等に一定の成果を上げております。

北海道の地域医療を守るためには、今後各地域で勤務する医師を確保し、地域枠制度を安定的に運営することが極めて重要です。

昨年7月の医療法及び医師法の一部改正に伴い、都道府県には、新たに国が定めた医師偏在指数を踏まえて医師確保計画の策定が義務付けられたところであり、地域枠の設定を含む実効性のある医師確保等の対策が講じられることが期待されます。

ついては、医師確保計画を策定するにあたり、地域枠制度の安定的運営等を求め、以下のとおり要請します。

記

- 1 北海道における医師不足、医師の偏在対策として地域枠制度を今後も安定的に運営していくために、地域枠医師の必要数を確保するべく、医療対策協議会などにおいて道内医育大学関係者、医療従事者等との地域枠に係る医学部定員のあり方について協議を速やかに進めること。
- 2 医師確保計画の策定後は、道内における医師需給の実態を踏まえ、計画に掲げられた施策の実効性について絶えず検証し、必要に応じ計画の変更を含め適切な措置を講じること。

令和元年7月5日

北海道知事 鈴木直道様

北海道市長会

会長 山口 幸太郎

